

龍の寺社を訪ねて～宮彫りの魅力

vol.3

ごりょうじんじゃ
御霊神社
(鎌倉市)

文：神奈川県探龍倶楽部
代表 上田 康史

江戸時代に花開いた宮彫り一宮大工の彫師の繊細な技術やアート性を文化財・芸術作品として周知・保護する活動を行っている。

境内のすぐそばに江ノ電の踏切があり、社務所前には推定樹齢350年以上と言われるタブノキがそびえています。鎌倉を舞台にしたTVや映画によく出てくる、平安時代後期に創建された神社です。

静かな佇まいの中に鎮座する本殿こうの向は拝いに素晴らしい宮彫りの「龍」があります。今回、是非、見ていただきたいのは、その向拝の上(妻飾りといえます)にある「龍2態」と、本殿の脇障子です。

脇障子の表には、透かし彫りの「獅子と牡丹」が彫られています。これを裏から



本殿外観

眺めると、この透かし彫りが「昇り龍」に見えるのです。

訪れた際にご自身の眼で



本殿向拝の「龍」とその上の「龍2態」

確かめられてはいかがでしょうか？

※向拝…社殿や仏堂で、正面の階段上に張り出したひさしの部分。参拝者の礼拝する所

御霊神社

鎌倉市坂ノ下4-9

江ノ電長谷駅より徒歩10分

☎0467(22)3251



「獅子と牡丹」が彫られている脇障子